

◆第3回戦略会議以降の変更点（パブリックコメントへの対応を除く）

資料1

No	ページ	項目	区分	修正前	修正後
		I はじめに			
1	11	行動指針	変更	(2項目目タイトル) 地域価値の再認識と継承	地域価値の再認識と磨き上げ
2	11	行動指針	変更	ブランド力向上 出雲からはじまる物語を国内外に発信し、	はじまりの地出雲の物語を国内外に発信し、
3	11	行動指針	誤記	人材育成 はじまりの地出雲の物語を持続可能なまちづくり の原動力として	人材育成 持続可能なまちづくりの原動力として
4	12	4 はじまりの地出雲の物語	追加	-	P.12~15 「4 はじまりの地出雲の物語」の内容を追加
		II 現状と課題、今後の方向性			
5	19	1 観光を取り巻く状況	変更	(4)観光DXの進展 (3行目) 観光地においても、周遊促進、観光産業 の生産性向上など、	観光地においても、データを活用した周遊促進、観 光産業の生産性向上など、
6	21	2 出雲市の観光の今	追加	-	(3)観光消費額・生産波及効果 「日帰り消費額単価 全国・出雲市」の表を追加

No	ページ	項目	区分	修正前	修正後
7	21	2 出雲市の観光の今	変更	-	「第2回地域戦略会議アンケート結果」に全5エリアのデータの変更（平田、佐田エリア以外を反映）
		III 目指す将来像と戦略			
8	34	1 目指す将来像と数値目標	変更	(1)目指す将来像 新しい出雲の発見 観光地経営でなす 住んでよし・訪れてよしの観光まちづくり	観光地経営でなす 住んでよし・訪れてよしの観光まちづくり 周遊滞在型・通年型の観光まちづくりを戦略的に実現し、住む人・訪れる人双方が出雲の多様な観光に気付き、楽しんでいます。
9	35	1 目指す将来像と数値目標	変更	(図中央の円内) 新しい出雲の発見 周遊滞在型観光の実現	多様な魅力の発見 周遊滞在型 通年型 観光の実現
10	36	1 目指す将来像と数値目標	追加	-	(2)数値目標 「【リピーター】出雲大社のリピーター率（日帰り）・（宿泊）」の項目追加
11	37	2 将来像の実現に向けた戦略	変更		（「目指す将来像」の変更を反映）
12	40	戦略A 戦略的なマーケティング活動の展開	変更	戦略A マーケティング力強化戦略 A-1 マーケティングのフレームワークの活用 ① マーケティングのフレームワークの活用	戦略A 戦略的なマーケティング活動の展開 A-1 戦略的なマーケティング活動の展開 ① 観光地としてのマーケティング戦略の策定等

No	ページ	項目	区分	修正前	修正後
13	43	A-2. データの収集・活用による 分析力・説明力の強化	変更 追加	事例紹介 地域O T A 導入で多様なメリット創出 (本文左列7行目) ●体験コンテンツなどの充実を進める上で、小規模な施設や個人の場合、予約決済コンテンツの整備が難しいとの課題に対応できます。	●予約決済システムの導入を躊躇していた小規模な事業者等にも新たにWEB上の販路を提供できます。 ●地域から直接、個人客に販売する基盤が整うため、大手旅行会社では扱うことが難しい、地域の多様な魅力を生かした着地型旅行商品（ツアーや体験商品）の開発・販売において強みとなります。
14	46	B-1. 地域と連携した魅力の磨き 上げ	追加	—	「コラム 観光客目線の重要性」を追加

No	ページ	項目	区分	修正前	修正後
15	47	B-1. 地域と連携した魅力の磨き上げ	変更	<p>地域消費の拡大につながるキーコンテンツ (左上段 タイトル・本文)</p> <p>食</p> <p>出雲特有の食文化や、自然や風土が育む地域ならではの食材・新鮮な農水産物、伝統的な製法を大切にし地域に根差した特産品、地元の方に愛される飲食店など、ここでしか出会えない出雲らしい食を観光客に味わってもらえるよう、情報発信や地産地消の推進など、地域の実情を踏まえつつ積極的に取り組みます。</p>	<p>出雲特有の豊かな食文化</p> <p>地域ぐるみで出雲の食をPRできるよう、国引きの大地や地域の歴史が育んだ出雲特有の豊かな食文化・食材について、その価値や魅力を再発掘し、地域内外に向けてストーリーのある発信を強化します(次のページのコラムを参照)。また、「食」が周遊・滞在の目的となるよう、各地域で味わえる出雲らしい食・お土産の情報発信や地産地消の推進に地域と連携して取り組みます。</p>
16	47	B-1. 地域と連携した魅力の磨き上げ	変更	<p>(中下段タイトル)</p> <p>豊かな自然環境やジオパークの魅力を活かしたアクティビティ</p>	<p>国引きの大地の歴史が育んだ自然景観</p>
17	48	B-1. 地域と連携した魅力の磨き上げ	追加	-	「コラム 国引きの大地の歴史が紡いだ出雲の食文化」を追加
18	51	B-1. 地域と連携した魅力の磨き上げ	追加	-	「コラム 悠久の歴史から紐解かれるストーリー」を追加

No	ページ	項目	区分	修正前	修正後
19	53	B-2. 守るべき資源・文化の継承と価値の再認識	変更	<p>①街並みや自然景観の保全 (本文10行目) また、特徴的な散居景観を構成する築地松を保全するため、陰手刈技術の継承を含め、引き続き取り組めます。</p>	<p>また、築地松の維持や剪定技術の継承の支援、築地松散居集落の魅力活用等に引き続き取り組み、築地松景観の維持を図る住民協定の継続を支援するとともに、農地保全や周辺開発との調和に努めます。</p>
20	54	B-2. 守るべき資源・文化の継承と価値の再認識	変更	<p>②歴史文化資源の保存と活用 ▶博物館や文化施設等の観光コンテンツとしての活用促進 荒神谷博物館、出雲弥生の森博物館、出雲文化伝承館、平田本陣記念館などの文化施設</p>	<p>▶出雲市の歴史文化を語る遺跡や博物館の活用促進 古代出雲の繁栄を証明する荒神谷遺跡や数々の古墳、巨大神殿であった出雲大社の遺構、古からの歴史や神話を体感できる3つの博物館(※) (中略) ※古代出雲歴史博物館、荒神谷博物館、出雲弥生の森博物館</p>
21	54	B-2. 守るべき資源・文化の継承と価値の再認識	変更	<p>取組紹介 歴史文化資源の保存と活用事例</p>	<p>取組紹介 出雲市文化財保存活用地域計画 (内容を変更)</p>

No	ページ	項目	区分	修正前	修正後
22	62	B-3. 受け入れ基盤の充実	追加	-	<p>⑤ 宿泊機能の強化</p> <p>宿泊客数の増加目標の達成に向け、宿泊施設の稼働率向上に取り組むとともに、新規立地を引き続き支援し、宿泊キャパシティの確保に取り組みます。既存施設の改修や空き家活用などについても、事業者の相談に応じ国事業等の情報提供に努めます。</p>
23	62	B-3. 受け入れ基盤の充実	追加	-	<p>⑥ 観光危機管理</p> <p>令和6年7月豪雨により発生した日御碕地区への県道崩落時の経験を踏まえ、災害時の旅行者の安全確保・帰宅支援や災害関連情報の旅行者・事業者への提供について、地域防災計画等における記載の充実をはじめ、庁内連携し、平常時の備えの強化を検討します。</p> <p>災害関連情報については引き続き多言語化を進めるとともに、できる限り早期かつ詳細な情報提供に取り組めます。また、施設内等の旅行者への対応を担う事業者への情報取得ツールの周知等、地域全体での対応力の向上を推進します。</p> <p>「観光危機管理のタイムライン（自治体・DMOの実施業務例）」を追加</p>
24	62	B-3. 受け入れ基盤の充実	追加	-	「コラム 令和6年 日御碕対応事例」を追加

No	ページ	項目	区分	修正前	修正後
25	68	C-2. 個人客・リピーターやオフシーズン等の誘客強化	追加	-	<p>③ オフシーズン対策等に資する民間イベント等の支援</p> <p>オフシーズン対策や夜の魅力化に向け、「出雲ウィーク」イベント（※）をはじめ、事業者・団体が開催するイベント・企画等の充実・魅力化を推進し、市や観光協会の情報発信ルートを活用し、集客を支援します。</p> <p>また、出雲の認知向上や新たな客層の獲得に向け、島根フィルムコミッション等と連携し、出雲の魅力を発信するアニメや映画等の関連企画を推進します。</p>
26	70	C-3. 新市場の創出（インバウンド、多面的な誘客促進）	変更	コラム 観光庁・日本政府観光局（JNTO）「訪日観光マーケティング戦略」	<p>コラム 国のインバウンド戦略と市のターゲット</p> <p>「〔国名〕は出雲市の重点地域」を加え、出雲市の重点地域を記入</p>
		資料編			
27	84	資料編	作成	-	<p>策定経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光戦略会議 ・地域戦略会議
28	85	資料編	作成	-	委員名簿
29	86	資料編	作成	-	アドバイザー紹介
30	87	資料編	作成	-	出雲市観光戦略会議設置要綱
31	88	資料編	作成	-	本計画に関連する出雲市の計画
32	90	資料編	作成	-	用語解説